

## 令和2年11月2日 滋野地区住民説明会 意見集約

番号	質問事項	事業者等による回答
1	なぜこの場所を選んだのか？	東御市は日照時間が長く、雪が少なく、太陽光発電施設を設置するのに適した場所であるためです。
2	買取価格が下がっているが、採算は取れるのか？	買取価格も下がってきていますが、パネル等の値段も下っているため、かろうじて採算が取れる計算です。
3	大規模開発によってかなりの木が伐採されるが、地下浸透量はどのくらいか？	1秒間に0.039m <sup>3</sup> 、1時間に8,400m <sup>3</sup> が浸透する計算です。
4	調整池について、30年確率で計算するとどのくらいで満水になるのか？	177分(2時間半)で満水になる計算です。調整池の貯留量は1,400tであり、60センチ余裕がありますので、現実的には1,400tを超える水を貯水できる計算です。
5	雨量計算が30年確率だが、柗津の御堂では30年確率で計算していたが、大雨による土砂流出が起き、50年確率で再設計した経過がある。今計画も50年確率で設計すべきと考えるがどうか？	森林法の基準に沿って進めております。変更は考えておりません。
6	調整池からオーバーフローは絶対しないという設計になっているのか？	調整池は30年確率の雨量強度に対応しており、それ以上の雨が降れば溢れます。基準は森林法で定まっているため、問題ないかの判断は県が行います。
7	30年確率以上の雨が降れば、調整池から溢れるということで、市は原則敷地内浸透としているが、余水吐けを設置して河川に放流することは可能か？	計画地周辺に河川がないため、余水吐けを設置することができません。
8	再生可能エネルギーを普及していくことは大事だが、近年の異常気象で調整池が決壊する可能性がある。その時に原口区の地権者、住民に責任が及ばないように協定などしっかりと締結してもらいたい。	県から許可が得られたら東御市、原口区などと協定を締結します。随時、東御市と協議し、皆さんに迷惑がかからないようにしていきます。
9	この計画により景観上の問題があると思うが、聖区から見てパネルが見えないのか？また近くの道路から見えるのか？	聖区から見ると一部見えるところがありますが、下からは見えません。
10	FITでは20年間継続して事業を行うと言っていたが、20年以降はどのように考えているか？	固定買取価格は20年間保証され、20年以降は入札による買取価格が決定されます。その時に事業を継続していた方が得であれば続けますし、損であれば撤退します。

その他、調整池を発電施設建設前に作ること、調整池の管理、降雨強度基準の見直し、市や区との協定の確実な履行についてなど、滋野地区からの要望として事業者へ伝えられました。また、滋野地区からの要望や質問事項については、後日事業者より書面にて回答することとなりました。